



# 岩崎模型製造株式会社

食品サンプルの源流。国内需要が減少する中、海外市場開拓を決意。シンガポールを中心に東南アジアへ食品サンプル、そしてサンプル文化の輸出を行っている。販売は上々、今後はベトナムでの拠点を狙う

展開国・地域 2017年 シンガポール  
2018年 マレーシア、台湾

企業情報 所在地: 岐阜県郡上市 従業員数: 30名  
設立: 1963年10月 URL: <https://iwasakimokei.com/>

事業内容 食品サンプル・サンプルグッズの製造、サンプルづくり体験の実施



1 料理の工程を立体的に表現し、色や艶と合わせておいしさを魅せている

2 本社隣接のサンプルづくり体験コーナー入口。毎日の様に外国人観光客が訪れる

3 香港での展示会の様子



## 海外展開のきっかけは観光客の笑顔

海外展開を始めたのは、純粋な興味からです。弊社では食品サンプルづくり体験ができますが、近年、東南アジアを中心に外国人観光客が多く来訪されます。日本以外の国々では、食品サンプルはとても珍しいものです。彼らの笑顔と目を輝かせる姿を見て、海外でも一定の需要があるのではないかと考え、一度現地での感触を確かめてみようと思に至りました。日系外食産業の進出が多い点、食品サンプル文化の受容性などを全体的に考慮した結果、香港とシンガポールをターゲットにしました。2017年7月からジェトロ「新輸出大国コンソーシアム」の専門家の支援を受けつつ、両都市での展示会に参加したところ、予想以上に良い評判を得ました。「これをずっと探していました」と、握り寿司のサンプルを見た現地レストラン経営者からありがたい声もいただきました。聞くと、現地で入手できず、わざわざ日本で買い付けていたとのこと。現在は、シンガポールの展示会で引き合いのあった飲食店向けに輸出を継続しています。

## 海外に出たからこそ気付く、製品の潜在力

実際に海外に進出をして気付いたことがいくつかあります。一番大きかったのは、食品サンプルだけでなく、ストラップなどのサンプルグッズにも需要があると分かったことです。そこで2018年4月、シンガポールの東急ハンズで食品サンプルづくり体験を実施しまして、同時にグッズの販売も行ったのです。日本だけで事業をやっていたら、気付くことができなかったかもしれません。他方、日本人と海外の方々の色彩感覚の違いには苦労します。弊社が製造する食品サンプルは、本物を鮮やかに表現することで、人々の食欲を喚起させるものです。その重要な要素の一つに色合いがあるのですが、日本人の目を通して見た色合い、そしてその色から「おいそう」と思うかどうか、海外の方々の感覚は異なります。また、海外の料理を再現するため、現地食材を取り寄せ自分たちで調理するなど、お客様と自分たちの商品イメージのギャップを埋めていく作業は困難を極めました。

## 熱意とこだわり、それが競合との差別化のポイント

販路は当然広がりましたが、海外に進出して良かったかどうかの判断は時期尚早です。ですが、製品だけでなく文化の輸出にも携わることができ、海外事業に取り組むやりがいとなっています。弊社がつくる食品サンプルは、単なる「偽物」ではありません。「こんなにおいそうな料理がこのお店にはある」と思わせる、誘客のツールです。そのため、つやだしや色合いなどに拘り、本物よりおいそうに見せないダメなのです。この意識の差を分かってもらうことは非常に重要です。弊社は、サンプルの質には絶対的な自信をもって、海外事業に取り組んでいます。ふと立ち止まって考えれば、日本国内でも一緒ですね。メーカーが商売を行うからには、自分が扱う製品に自信を持っていると思います。その自信を少し大きくするぐらいが、海外という大海原を渡っていくにはちょうどいいと思います。



取締役社長

小酒井 誓吾 氏

熱意と拘り、確かな自信。  
そのアピールをしていくことが、  
大海原の航行には必要です

専門家からのポイント



日本の食品サンプルの草分け的存在である岩崎模型製造の製品は、わが国の誇るものづくり技術の精巧さや緻密さを具現化したものとして、シンガポールをはじめ海外でも高い評価を得ています。同社の成功要因として、海外見本市や物販店売場でのデモンストレーションへの積極的な出展が挙げられます。出展時に商談した複数の海外食品メーカーや外食店舗に対し、速やかに試作品を送るなどの丁寧な対応が奏効し、実績を伸ばしています。今後、アジアでの経験を生かし、欧米市場への参入も期待されます。